

業務の目的(官民連携事業導入の狙い)

【維持管理業務への性能規定型・複数年・複数業務包括委託】

期待する効果

- 予防保全による**施設の長寿命化とサービス水準の確保**の両立
- 地元企業を中心とした地域活性化**(維持管理市場を魅力ある産業へ)**
- 公社としての**(定性的, 定量的)導入効果の獲得**



適用手法

- 性能規定型・複数年・複数業務包括委託の活用
- 民間事業者が中心となった業務マネジメントの仕組み作り

調査内容

1. 対象とする資産の明確化
2. これまでの管理方法の整理と課題抽出
3. 法的規制等に関する調査
4. 先進的な取り組み事例の調査
5. 入札契約図書(試案)の作成
6. 事業スキームの最終化
7. 総合評価・事業推進手順の整理

【資料】

- 道路維持委託業務 要求水準書(案)等 (第二阪奈有料道路用)

結論

1. 事業の進め方

- 平成24年度は、一部に性能規定を適用した包括委託を単年度で実施。
- 実施結果を検証し、平成25年度以降を展開(詳細は次ページ参照)

2. 委託の特徴

- 民間ノウハウ活用のため植栽管理業務の一部に性能規定を導入。
- 舗装補修業務において品質保証付き契約(3年間)を導入。
- 民間ノウハウを随時、改善に結びつける仕組みを導入。
- 維持作業時に見過ごされていた損傷・不具合等に的確に対応する仕組みを導入。

3. 包括委託により公社が獲得するメリットの見通し

- 客観的で安定的な維持管理水準の確保と従来比数%程度のコスト縮減。

4. 募集図書(試案)の作成

- 第二阪奈有料道路用 要求水準書(案)等

5. 事業スキームづくりの特徴

- 丁寧な市場調査による、実施可能な事業スキームづくり。

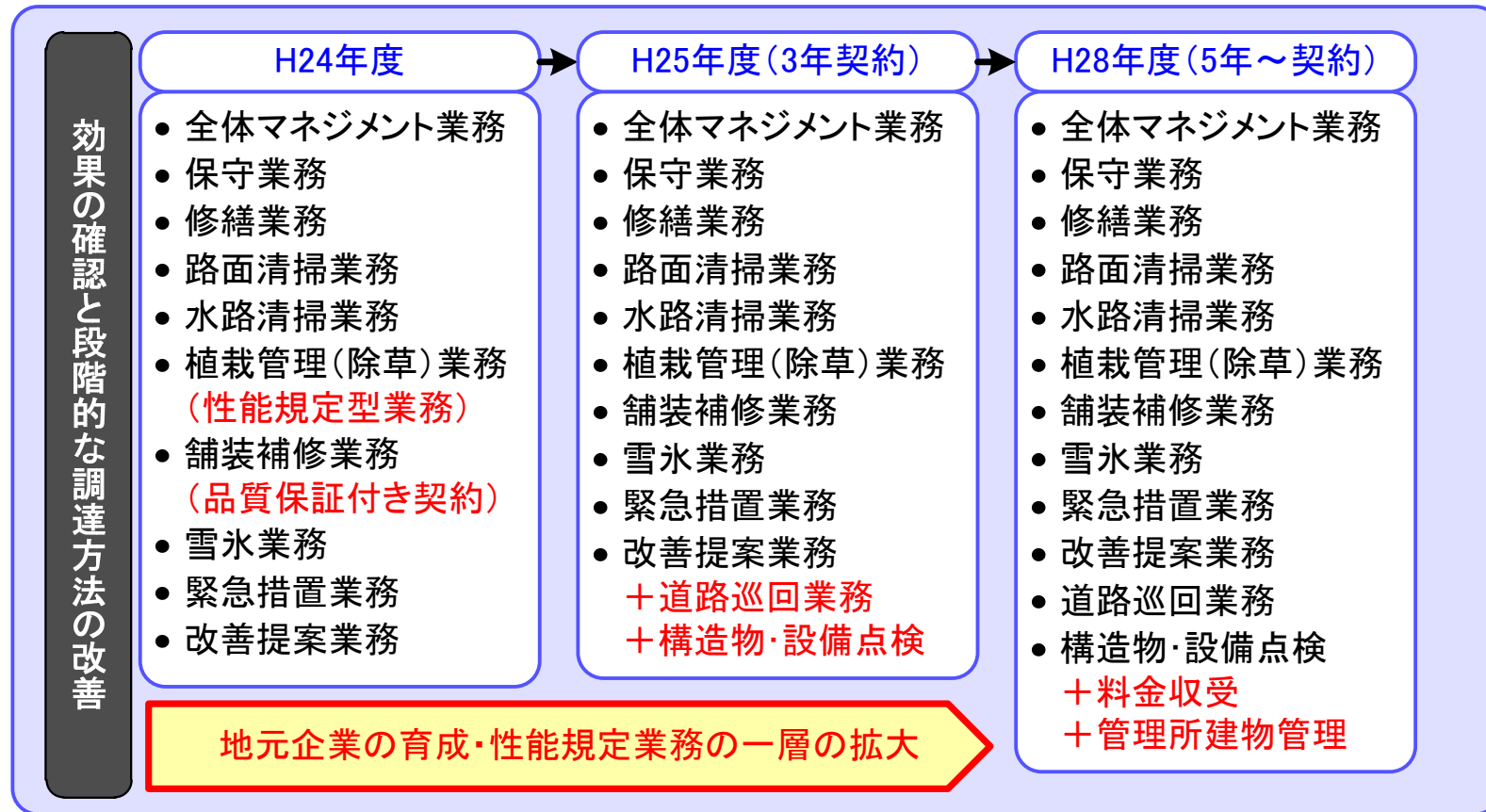
施設概要

- (1) 路線名 : 一般国道308号
- (2) 延長 : 9.6 km
- (3) 道路の区分 : 第1種 第3級
- (4) 車道幅員 : 3.50m × 2車線
- (5) 設計速度 : 1時間につき60 km
- (6) 開通年月日 : 平成9年4月23日
- (7) 事業費 : 2,336億円
- (8) 実績交通量 : 計画の80.0% (H22年度)



第二阪奈有料道路 維持管理方法の将来展望

- 平成25年度以降は、構造物点検等業務を加え複数年契約を検討。
- 地元企業の育成、性能規定業務の一層の拡大を図り、効果を検証しながら段階的に合理化を推進する方針。



- 第二阪奈有料道路は大阪府道路公社と共同管理を行っており、本検討は現時点で奈良県道路公社が担っている業務を対象として行った。
- 道路巡回業務は大阪府道路公社の管理業務であるため、平成24年度の委託では対象業務としていない。